

“はかる”技術で未来を創る



第68期 2020年9月期
決算説明資料

2020年11月2日

目次

1. 決算ハイライト
2. 2021年9月期 連結業績予想
3. “はかる”技術への取り組み

決算ハイライト

トピックス

／前期比 減収・増益（純利益26.0%増）

／新型コロナウイルスによる影響

- 》国内ビジネス 上期計画通り、下期活動制限による納期遅延
- 》海外ビジネス 上期計画半減、下期徐々に回復し前期超え

／2020年9月期配当金 38円（中間14円支払済み）

／2021年9月期配当金 40円（予想）

ビジネス総括

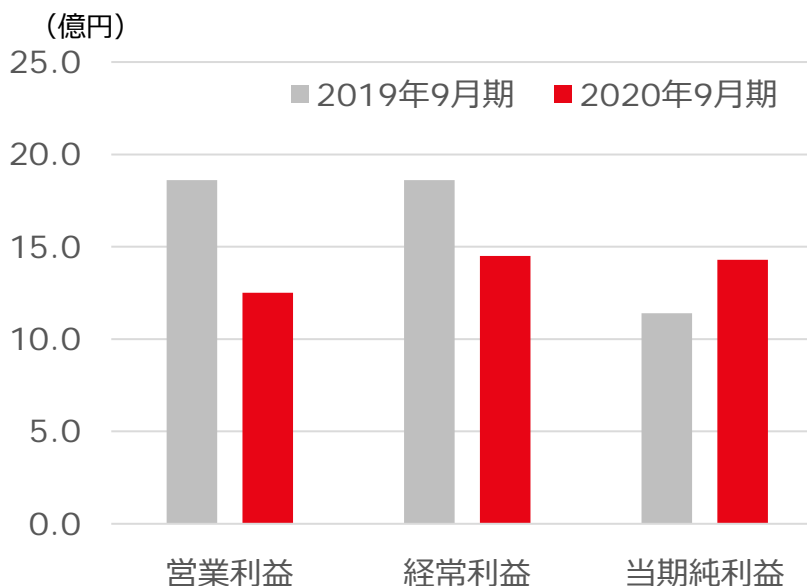
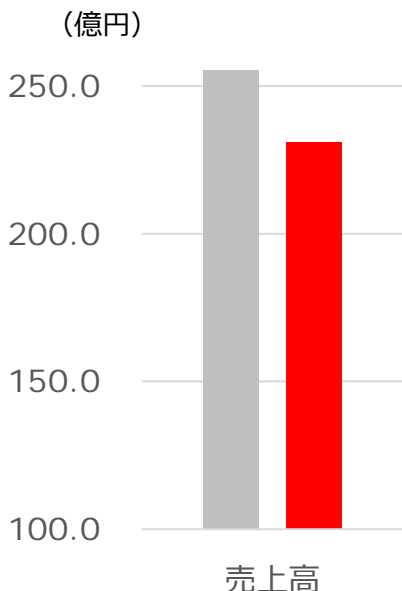
成長分野

- | | | |
|-------------------|-------|----|
| 》 5G/ローカル5G | 受注・売上 | 好調 |
| 》 自社製品SYNESIS | 受注・売上 | 好調 |
| 》 車関連EMC/大型アンテナ | 売上 | 堅調 |
| 》 ゲーム業界ソフトウェア開発支援 | 受注・売上 | 堅調 |
| 》 次世代電池 | 受注 | 好調 |
| 》 米国ビジネス | 前期超え | 伸長 |

新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた分野

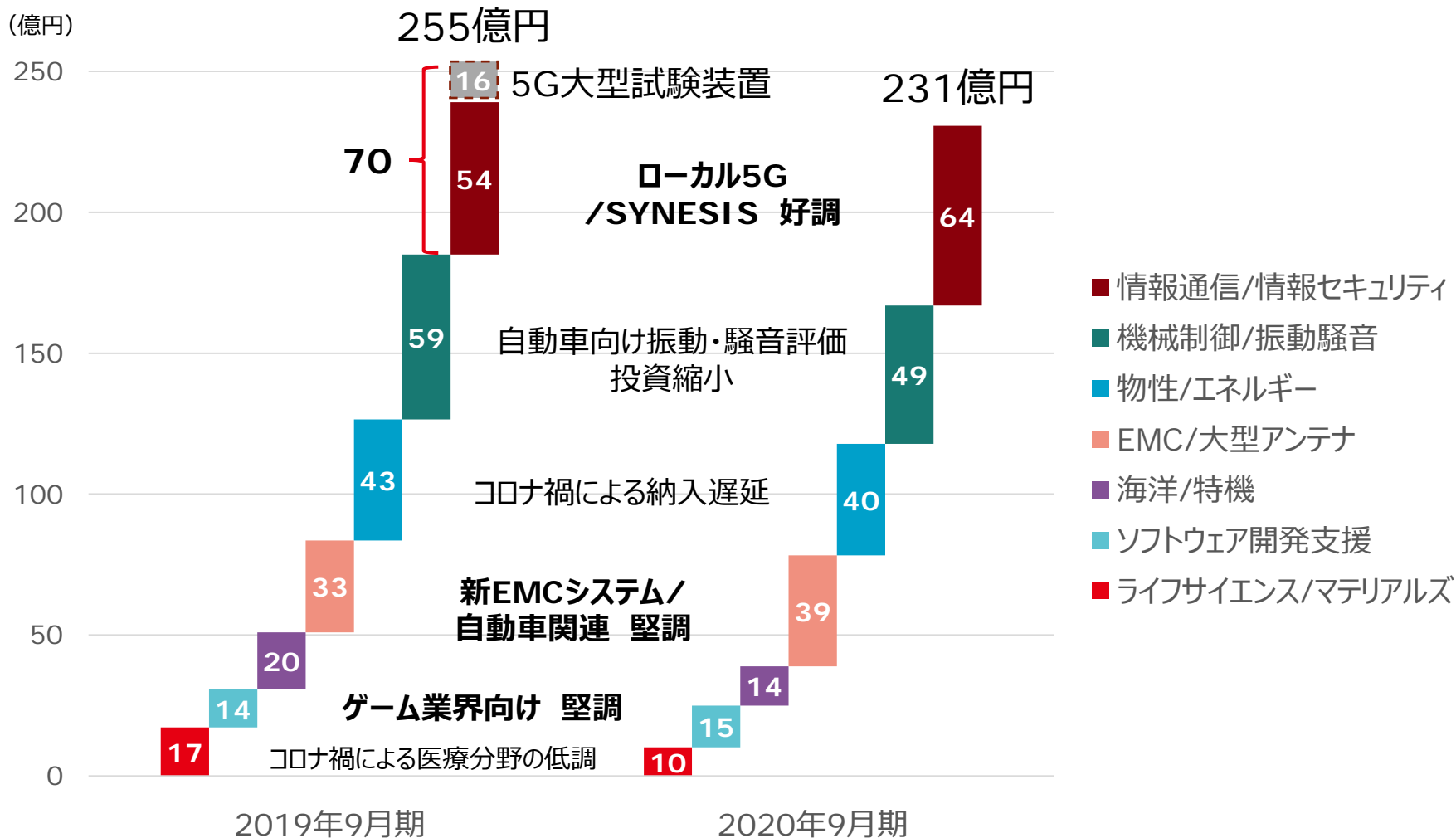
- 》 製造分野、医療分野の設備投資延期による販売不振
 - 》 機械制御/振動騒音、海洋/特機、ライフサイエンス/マテリアルズ

業績ハイライト



	2019年 9月期	2020年 9月期	増減額	増減率
売上高	255.4億円	231.0億円	△24.4億円	△9.6%
営業利益	18.6億円	12.5億円	△6.1億円	△32.8%
経常利益	18.6億円	14.5億円	△4.1億円	△22.3%
当期純利益	11.4億円	14.3億円	2.9億円	26.0%

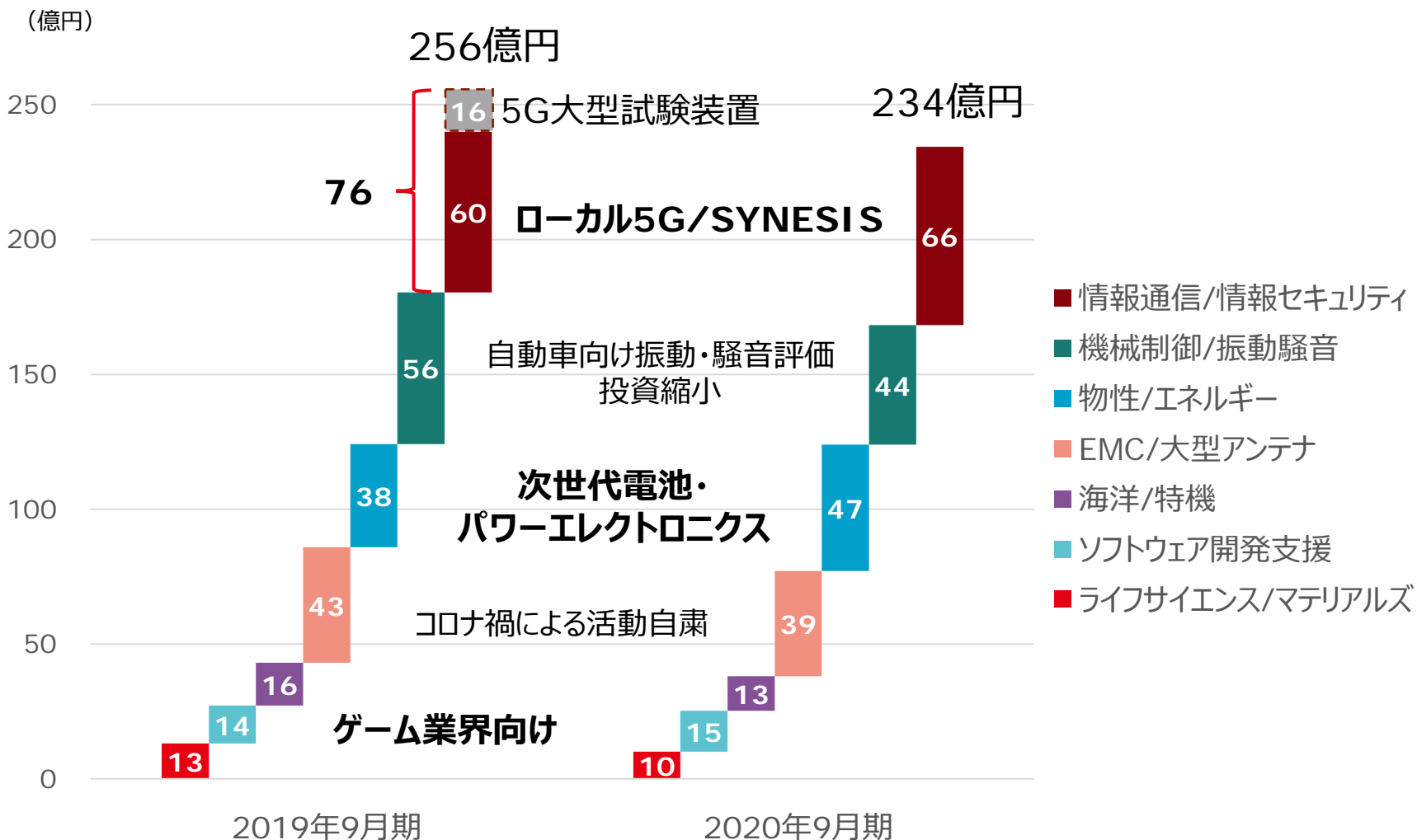
売上高推移（セグメント別）



営業利益増減（セグメント別）

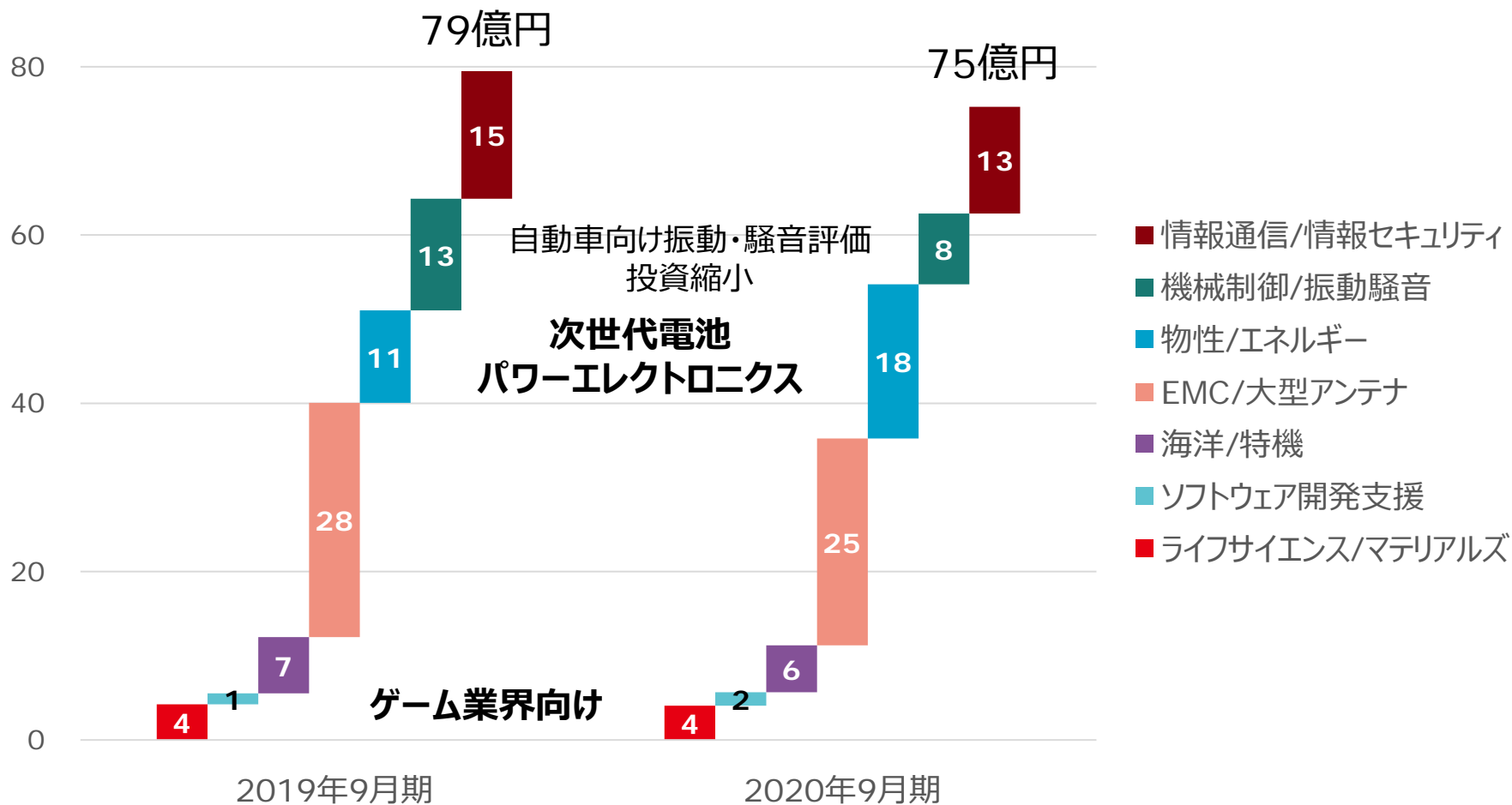
セグメント	2019年 9月期	2020年 9月期	増減	
情報通信/情報セキュリティ	4.4億円	0.8億円	△3.6億円	⇒ Q4商品評価損
機械制御/振動騒音	12.0億円	9.5億円	△2.6億円	⇒ コロナ禍売上減
物性/エネルギー	5.6億円	5.7億円	+0.1億円	
EMC/大型アンテナ	1.8億円	2.9億円	+1.1億円	⇒ 売上増 Q3商品評価損
海洋/特機	6.0億円	2.2億円	△3.8億円	⇒ コロナ禍売上減
ソフトウェア開発支援	1.7億円	2.5億円	+0.8億円	⇒ 粗利増
ライフサイエンス/マテリアルズ	0.8億円	△1.0億円	△1.8億円	⇒ コロナ禍売上減
全社費用	△13.7億円	△10.1億円	+3.6億円	

受注高推移（セグメント別）

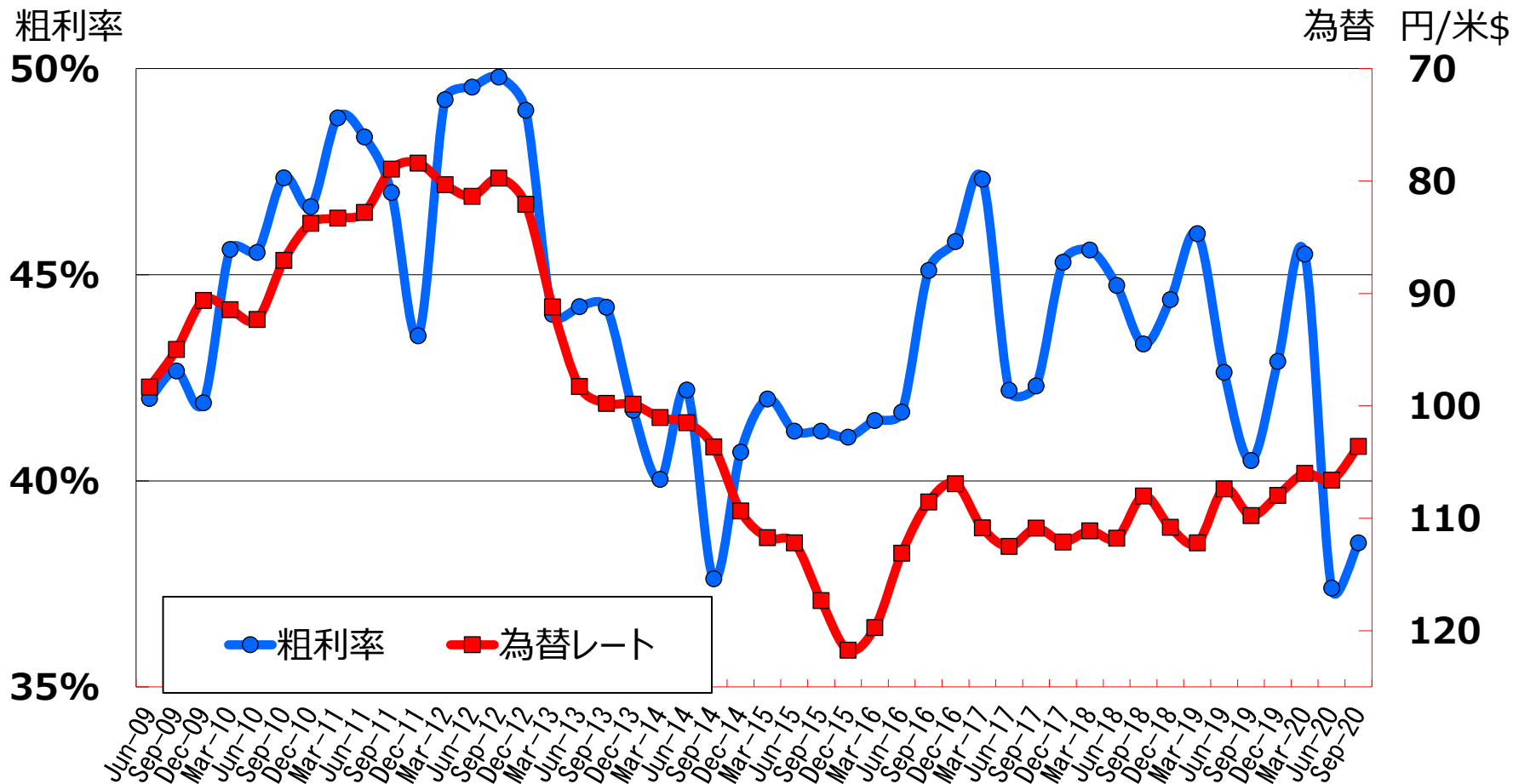


受注残高推移（セグメント別）

(億円)



為替と粗利率



政策保有株の売却

当社の方針として、適宜政策保有株の売却を検討しており、2020年9月期において、下記の売却を実施いたしました。

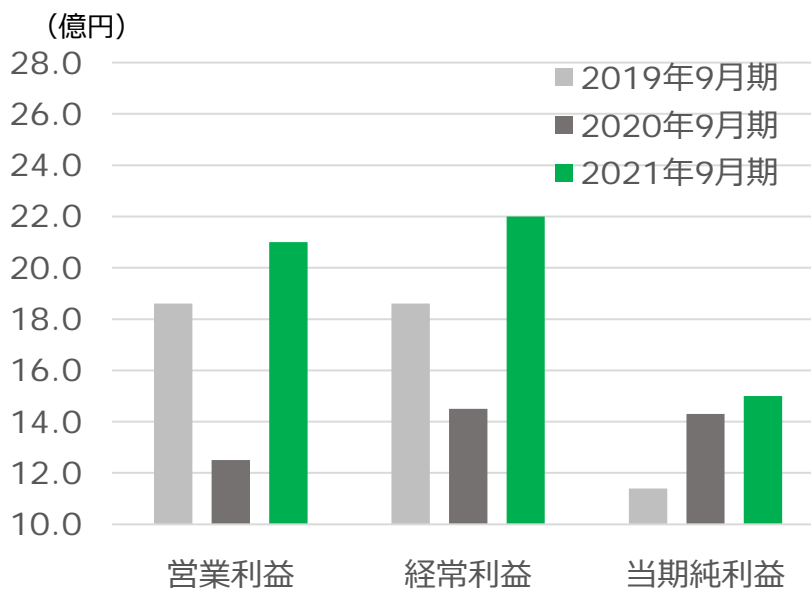
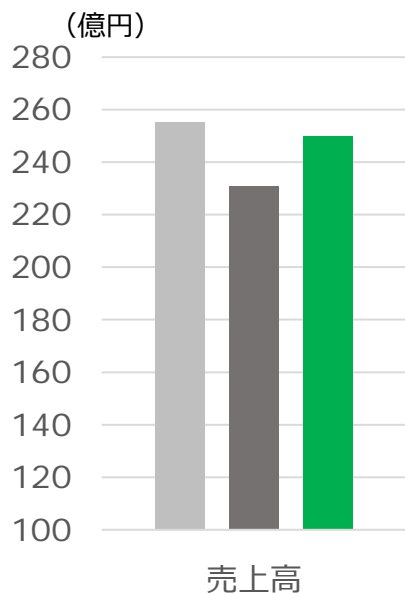
売却株式：当社の保有する上場有価証券 1 銘柄

投資有価証券売却益：7億3千1百万円

今後も政策保有株の売却に努めてまいります。








2021年9月期 連結業績予想

2021年9月期業績予想値

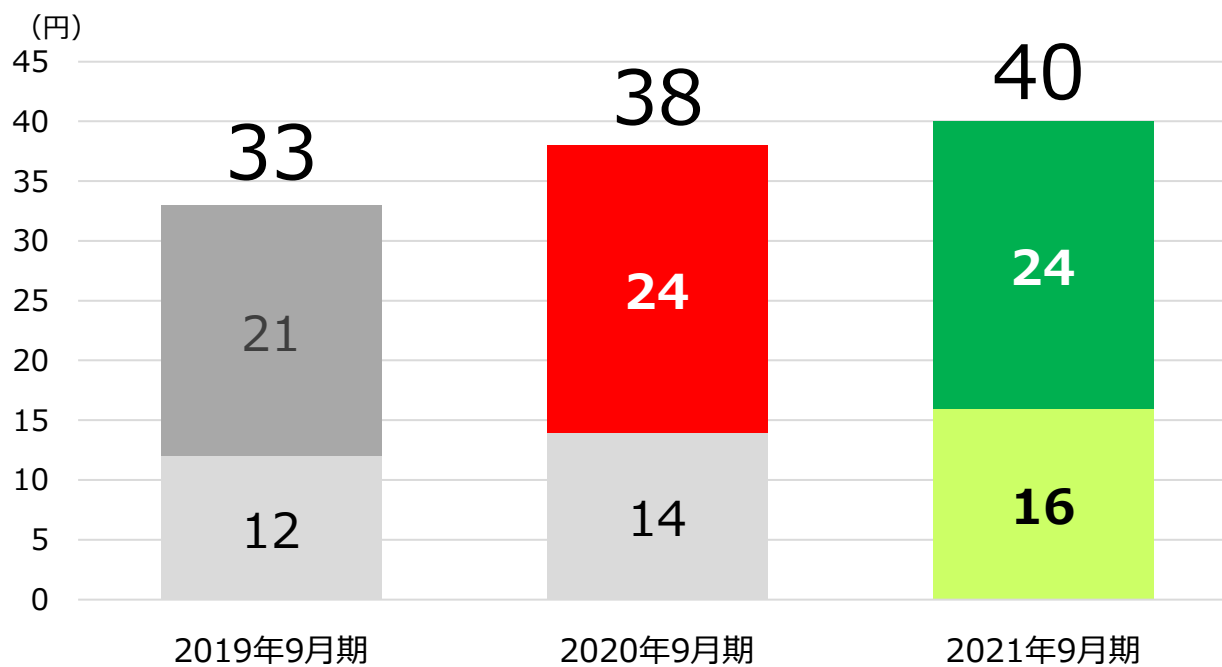


	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期予想値
売上高	255.4億円	231.0億円	250.0億円
営業利益	18.6億円	12.5億円	21.0億円
経常利益	18.6億円	14.5億円	22.0億円
当期純利益	11.4億円	14.3億円	15.0億円

2021年9月期 セグメント別動向

セグメント	動向	要因
情報通信/情報セキュリティ		5G/ローカル5G分野、自社製品SYNESISの拡販
機械制御/振動騒音		自動運転向け研究開発への注力
物性/エネルギー		次世代電池向け研究開発分野の拡販
EMC/大型アンテナ		EMCビジネス、大型アンテナ、海外ビジネスへの注力
ソフトウェア開発支援		ゲーム業界での拡販、自動車関連へ拡大
海洋/特機		防衛ビジネスの更なる強化
ライフサイエンス/マテリアルズ		医療分野の設備投資遅延

配当金予想



	中間	期末	年間
2020年9月期	14 支払済	24	38
2021年9月期	16	24	40

(円/株)

2021年9月期の配当性向は65%を想定

“はかる”技術への取り組み

「東陽ソリューションフェア 2020 Online」の開催決定！

2020年12月9日（水）～11日（金）

当社は12月9日（水）・10日（木）・11日（金）の3日間、「東陽ソリューションフェア 2020 Online」を開催いたします。

本イベントでは、バーチャル空間で約50のオンライン技術セミナーに加えて、バーチャル製品展示にて最新技術・ソリューションを体験していただく予定です。



前回の「東陽ソリューションフェア 2017」の経験を活かし、今回は当社の製品展示やセミナーをバーチャル空間で体験していただけます。

>> [「東陽ソリューションフェア 2017」イベントページ](#)

参照URL : <https://www.toyo.co.jp/event/tsf2020/>

米国特許取得：自社製品SYNESIS

「SYNESIS(シネシス)」搭載のコア技術「データ書き込み装置及び方法」について、2020年3月に米国での特許を取得しました。



【特許概要】

米国特許番号：US 10,585,622

発明の名称：「Data writing device and method」

(日本での特許：特許第6377304号

発明の名称：「データ書き込み装置及び方法」)



大容量ポケットキャプチャ/解析システム
「SYNESIS」ポータブル型・100Gモデル

参照

[URL:https://www.toyo.co.jp/files/user/corporate/documents/release/200727_synesis_patent_us_68043.pdf](https://www.toyo.co.jp/files/user/corporate/documents/release/200727_synesis_patent_us_68043.pdf)

納入実績①

JAXA美笹深宇宙探査用地上局に「基準信号・時刻標準装置」を納入 ～ 深宇宙探査機の追跡・管制を支える原子時計 ～

「基準信号・時刻標準装置」は、深宇宙探査機の追跡・管制などに活用されます。

内部に原子周波数標準器(原子時計)としてT4Science S.A.(本社：スイス、ヌーシャテル州ヌーシャテル、以下T4Science社)の水素メーザ「iMaser3000TM」を使用しています。

T4Science社製水素メーザ「iMaser3000TM」は、周波数安定度や位相雑音といった主な性能が世界で最も良い製品のひとつであり、長期にわたる地上局の運用に適した長寿命設計がされているほか、美笹局のような無人局でも運用できるように遠隔地からの操作にも対応しています。

セグメント：EMC/大型アンテナ

参照URL：

https://www.toyo.co.jp/files/user/corporate/documents/release/200702_imaser3000_68041.pdf



「基準信号・時刻標準装置」

(写真はシステム全体の中の一部)



水素メーザ「iMaser3000TM」

納入実績②

自動車開発向け動力性能評価用 ハブ式シャーシダイナモメーター・システム

米国 国立研究所様向け納入完了 (3.0億円)

セグメント：機械制御/振動騒音



EMCテストシステム

米国EV自動車メーカー様向け納入完了 (1.0億円)

セグメント：EMC/大型アンテナ



テクニカルマガジン

最新技術動向を発信しています。



70歳までの雇用を実現する 「シニアマイスター制度」、「マイスター制度」を創設

高年齢者が活躍し、安定した生活を送ることができる環境を整えるのは社会全体の重要な課題です。

当社は「改正高年齢者雇用安定法」の施行に合わせ、2021年4月1日より、定年後従業員の雇用に関する「シニアマイスター制度」、「マイスター制度」の二つの雇用制度を創設し、高年齢者が安心して力を発揮することができる企業を目指します。

フレックス制度やテレワーク勤務制度と合わせ、ワークライフバランスや就労意欲を高め、従業員がやりがいを持って業務に携わることのできる仕組み作りをこれからも行ってまいります。



参照URL :

https://www.toyo.co.jp/files/user/company/documents/lease/201013_meister_69004.pdf

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、本資料は、記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。

お問い合わせ先
株式会社東陽テクニカ
経営企画部
toyo-ir@toyo.co.jp